

2014年6月21日(土) ワットリアップにて

水木無我新堂守 得度式

日本人会では3年毎に高野山真言宗より留学僧を招聘し、ワット・リアップ内にあります日本人納骨堂の堂守をお務め頂いております。
タイ僧として出家する得度式がワット・リアップにて執り行われ、たくさんの皆様に参列いただき、門出を祝うことができました。



高野山金剛峯寺でのタイ国開教留学僧辞令伝達式
2014年5月17日

前日の剃髪式

身を清めた(水浴)後白装束に着替え、親族、関係者がはさみを入れました。最後に担当の僧侶が髪、眉をそり落としました。剃髪した髪は川に流すのが習わしだそうです。



6月20日(金) ワットリアップにて



水木師は元々高野山で修行をされている僧侶のため、この日の得度式のために髪をのばされていました。

得度式当日



お供物



水木堂守とお父様の水木真言師
真言師も富山でご住職をされています



前堂守神田師、大橋会長、新堂守水木師

得度式当日

本堂に入る前に皆で供物を手に持ち行列をなして本堂の周りを右回りに3周します。独特の掛け声を掛け合いながら練り歩きます。まるでお祭の行列のようです。



本堂の入り口で出家者がリボンに包まれた小銭をばら撒きます。出家者にとっては俗世から旅立つ意味を持ちます。この小銭は清らかなもので幸運を招くといわれております。

本堂での荘厳な儀式が始ります。まず白装束姿でタイ人の高僧たちとの問答をし、仏門に入ることを許されるとタイ式の黄色の袈裟に着替えます。





水木師への最初のお布施

日本とは異なる上座仏教独特の儀式が厳かな本堂の中で流れるように進みました。

続いてタイ僧として初めて食事をする儀式が行われました。一番初めはお父様が食事のお布施をしました。新しいタイ僧にお布施をすることは参列者にとってとても得をつむことができるそうです。



【バンコク「永田和男」タイ日本人会が招いた高野山真言宗の留学僧、水木無我師(22)のタイ僧としての門出を祝う「得度式」が21日、バンコクの寺院「ワット・リアップ」で行われた。

水木師は留学僧として、3年間のタイ滞在中、ワット・リアップ内にある日本人納骨堂の堂守を務める。得度式では、本堂で日本人の大橋寅治郎会長ら多くの在留邦人が見守る中、まず白装束姿でタイ人高僧たちとの問答に臨み、無事、仏門に入ること許されるとタイ式の黄色の袈裟を手渡された。参加者たちは、日本とは異なる上座仏教独特の儀式に見入っていた。水木師は得度式の後、「

留学僧タイで得度式 日本人納骨堂の堂守に

参加いただいた皆様のおかげで華やかな式となりました。ありがとうございました。

9月の「納骨堂秋季彼岸法要」に是非お越し下さいませ。

中華街、花市場近くに行かれた際には納骨堂にもどうぞお立ち寄り下さいませ。事務局一同

ワット・リアップ本堂で得度式に臨む水木師(21日、永田和男撮影)

の黄色の袈裟を着ると、人々の見る目まで変わった気がする。背筋が伸びる思い「だ」と引き締まった表情で話していた。

本堂での式の前は、参加者たちが水木師に日傘を

カンボジアで28日に日系企業就職説明会

【バンコク「永田和男」王立ブロンペン大学「カンボジア日本人材開発センター」主催の日系企業・機関への就職説明会が6月28日、同センターの「コアンロールホール」で行われる。2012年から通算5回目となる大規模合同就職説明会で、今回は製造業、流通、サービス、コンサルディングなど各種の企業約20社がブースを出す。カンボジア人の新卒大学生や社会人で日系企業への就職に関心のある人が対象となる。

28日午前8時30分午後3時。場所: <http://ejec.edu.kh/jp/contact-us.html>参照。